

1

【ほめよイエスの御名を】

ほめよ イエスの御名を栄光 あふれる力を
ほめよ 王なるイエスを 力が流れる御座より

うたえ 声高く わが主を
はいし あがめよ 聖なる主を
ほめよ 王なるイエスを
十字架の御業をたたえよ

丘に立てる 荒削りの

丘に立てる 荒削りの 十字架にかかりて
救い主は 人のために 捨てませり命を

十字架にイエス君 われを贖い給う
十字架の悩みは わが罪のためなり

世人笑い あざけるとも 十字架は慕わし
小羊イエス 神の御子がつけられし木なれば

ああ十字架

カルバリ山の 十字架に付きて
イエスは尊き 血潮を流し
救いの道を 開き給えり
カルバリの十字架 わがためなり

ああ十字架 ああ十字架
カルバリの十字架 わがためなり

かくも妙なる 愛を知りては
身もたましいも ことごとささげ
ただ憐れみに すぎる他なし
カルバリの十字架 わがためなり

【栄光から栄光へと】

栄光から栄光へと 私を変えて
栄光へと私を変えてくださる

主と同じ姿に 変えられるまで
主は 私を変えて 変えてくださる

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ピリピ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシア/イスラエルとパレスチナのため。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。
- 能登半島地震の被災地のため/南海トラフのため

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
- 「日本にはリバイバルが始まっています」
- 「私も用いられます」
- 「すべての問題は解決します」
- 「することなすこと、みな成功します」
- 「私のまわりには奇跡が起こります」
- 「すべてのことを感謝します」
- 「イエス様と一緒にですから」
- 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



atelier TLedaT

ルカ福音書22章42-44節
42「父よ、みこころならば、どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようしてください。」43 そのとき、御使が天からあらわれてイエスを力づけた。44 イエスは苦しみもだえて、ますます切に祈られた。そして、その汗が血のしたたりのように地に落ちた。

祈りの小径(こみち)

Number: 200 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

マタイによる福音書26章39～42節

39 そして少し進んで行き、うつぶしになり、祈って言われた、「わが父よ、もしできることでしたらどうか、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさって下さい」。

40 それから、弟子たちの所に来てごらんになると、彼らが眠っていたので、ペテロに言われた、「あなたがたはそんなに、ひと時もわたしと一緒に目をさましていることが、できなかったのか。41 誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい。心は熱しているが、肉体が弱いのである」。

42 また二度目に行って、祈って言われた、「わが父よ、この杯を飲むほかに道がないのであれば、どうか、みこころが行われますように」。

ヨハネによる福音書18章10～11節

10 シモン・ペテロは剣を持っていたが、それを抜いて、大祭司の僕に切りかかり、その右の耳を切り落した。その僕の名はマルコスであった。11 すると、イエスはペテロに言われた、「剣をさやに納めなさい。父がわたしに下さった杯は、飲むべきではないか」。

ヘブル人への手紙5章7～10節

7 キリストは、その肉の生活の時には、激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のあるかたに、祈と願いとをささげ、そして、その深い信仰のゆえに聞きいれられたのである。8 彼は御子であられたにもかかわらず、さまざまの苦しみによって従順を学び、9 そして、全き者とされたので、彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となり、10 神によって、メルキゼデクに等しい大祭司と、となえられたのである。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

倉知牧師のみことばの解説(コラム)

ゲッセマネの祈りの続編です。

翌日に朝9時から息を引き取られる午後3時までの6時間に合わせるように、6時間(2h×3回)の祈りは、ずっと同じ祈りを捧げていたというよりも、段階的に変化し、「悲しみのあまり死ぬほどです」とお気持ちを吐露し、嘆願された祈りから、じよじよに決意の祈りとなり、最後はまったき信頼と御心にお任せする祈りを捧げたイエス様。祈り終わった時には「さあ、立てゆこう」と、苦難に向かって何の迷いもなく毅然として十字架への道を歩みはじめられました。

三度目に「同じ言葉で祈られた」とみ言葉にありました。一度目と二度目で同じだったのは、「わが父よ、御心のままになさってください」であったと、お話ししましたが、実は、もうひとつ鍵となる言葉があったことをご存知でしょうか？それが「杯」です。

イエス様は、一度目に「この杯を過ぎ去らせて」と言われ、二度目は「この杯を飲むほかに道がないのであれば…」と、これから味わわれる十字架の苦難を「杯」と仰ったのです。このあと、イスカリオテのユダに連れられた大祭司の僕たちに逮捕されるわけですが、そのひとりに刀を振るったペテロをとどめ、「剣をさやに納めなさい。父がわたしに下さった杯は、飲むべきではないか」ヨハネ18の11 と仰いました。イエス様の心中には「杯」があったのです。

イエス様の飲み干されようとされた苦き杯とは何を表しているのでしょうか？

1. _____の杯
2. _____の杯
3. _____の杯

祈りの中ですでに「完了」の勝利を得ておられた…私もこの祈りの奥座敷に導かれたいと願います。